

鈴鹿市立井田川小学校 令和7年度 学校経営の改革方針

学校教育目標 豊かな心をもち、自ら考え、たくましく生きる子どもの育成

I 喜びのある学校 「わかる喜び、できた喜びが実感できる学校」	II 元気な学校 「自分の思いを出し、互いに認め合える学校」
◆めざす子ども像 ◆ ・基礎基本を身に付けるとともに、主体的に学ぶ子ども ・健康への意識を高め、健やかな体をもつ子ども ○ 基礎基本の徹底 →ICTを活用した個別最適な授業と協働的な学び →家庭学習の充実 →生活習慣、学習規律の徹底 ○ 教職員の授業力の向上 →学調・みえスタの結果をふまえた授業改善 →ICTの活用推進と協働的な学び、深い学びの実現 →全担任による公開授業と事後検討会 →研究発表校や研修講座等への参加 ○ 読書活動の推進 →学校図書館教育の推進 ○ 体力向上を意識した日常的な体育活動 →縦割り班活動等の充実 →全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果等をふまえた取組の推進	◆めざす子ども像 ◆ ・豊かな感性をもち、自律した子ども ○ いじめ、長欠・不登校の未然防止 →組織的対応の徹底 →早期発見・早期対応の徹底 →関係機関等と連携した支援会議の設定 ○ 特別支援教育・人権教育の推進 →「子ども理解」と生活背景の把握 →保護者、関係機関等との連携強化 →中学校区人権教育推進委員会等の取組の推進 ○ 非認知能力の育成 →すべての教育活動における「やりぬく力」「自制心」「自己肯定感」「社会性」の育成 ○ キャリア教育の推進 →外部講師、地域の人材や資源の活用 ○ 学校危機管理マニュアルによる安全安心な組織体制の確立 →避難訓練、交通安全指導等の充実 ○ 教職員の資質の向上 →特別支援教育、人権教育に係る校内研修の実施
III 保護者・地域から信頼される学校 ○ 保護者・地域と連携した安全・安心な組織体制 ○ 学校運営協議会での熟議をふまえた教育活動	○ 地域の人材や資源を活用した取組の推進 ○ 学校だよりやHP等による情報発信
IV 環境整備や教職員の働き方改革をすすめる学校 ○ 教育施設の整備 ○ 勤務時間の縮減と業務改善 <数値目標> ・一人当たりの月平均時間外労働時間……………毎月20時間以下 ・年360時間、月45時間を超える時間外勤務職員数……………0人 ・一人当たりの年平均休暇取得の目標日数……………23日以上 ・設定した日に定時退校ができた職員の割合……………90%以上 ・放課後、60分以内に終了した会議の割合……………90%以上 ・独自取組…… 教職員自身による定時退校デーの設定……月1回	○ コンプライアンスの遵守 ○ 教職員の職場環境の改善